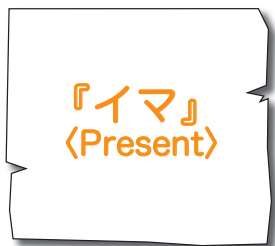


7 THE 7 FRAMS FOR LIFE 7つのワクワク枠

となりのコンパス②

第2フレーム

『ミライ』
〈Future〉



『カコ』
〈Past〉

木岬 さんぽ
KIMISAKI SAMPO

“ 幸せに
生きるんじゃぞ ”

愛犬ランプベリー、おじいさん…とふれあう
少年期さんぽのフルーツフル成長物語

SAMPO FRUITS



となりのコンパス②

『カコ イマ ミライ』

プロローグ

33

ランプベリーは、そばで^{ひるね}昼寝^{はじ}を始めていた。

「ライフが^か変わる^{こと}—— それ^{じたい}自体は、決して^{けっ}恥ずかしい^はこと
じゃない。それは、ある^い意味^み、生きて^いいる^{あかし}証の1つなのじゃから
のお」

「生きて^いいるアカシ——」

そのときは、その^{ことば}言葉^いの意味^みが、さっぱりわからなかった。

「——それじゃあ、^{いま}今のおじいちゃんにとっての^{かつようほう}フレームの活用法
とか、^{つく}プチ・^{かた}マップの^{とし}作り方は？ ^{こう}こう、^{ねんばい}年の効^{ねんばい}って^{しや}いうか、^{ねんばい}年配
者^{しや}ならでは^いって^いうか、——^いそういう^のの？」

「ん？ そいつは、おまえさんの^{しょうらい}将来の“^{たの}あとのお^{たの}楽しみ”という
のが1番^{ばん}よいように^{おも}思う^んじゃが、——^いどう^いじゃろう？」

「——。あとの^{たの}お^{たの}楽しみ——」

「そう^いじゃとも。——^いうむ。では、^{だい}そろそろ^{しょうかい}第2フレーム^{しょうかい}を紹介
しようかの」

「よっ、待ってました！」

「例の地図を持ってきたかな？」

「ああ、もちろん」 おじいさんに地図を手渡した。

「——あっ！ 思い出した！」

「ん？ 何をじゃ？」

「あれ、ほれ、それ、地図が、第1フレームから生まれたペーパー・コンパスが、——しゃべった」

「アッハッハッ！ そりゃあ、ラッキーでありがたいことじゃ。よかった、よかった——」 満足そうな笑みを浮かべながら、話すおじいさん。

そう言われてみれば、何となく、そう思えてきた。

おじいさんは、地図をゆつくりと裏返した。

「うむ、では、行くぞ？ 第2フレーム——」

「ああ、さあ来い！」

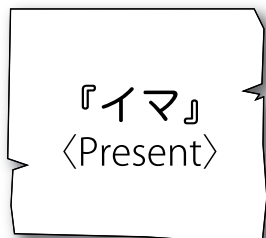
音楽——テーマ曲イン

♪ 美しき自然 Beautiful Nature

タイトル流れて。

第2フレーム

『ミライ』
〈Future〉



『カコ』
〈Past〉

34

『カコ イマ ミライ』じゃ」 そうい^いながら、地^ち
 図^ずの裏^{うら}の下^{した}はじ、真^まん^{なか}中^{うわ}、上^{じゅん}はじを順^{ゆび}に指^さしたおじ
 いさん。「これ^{だい}が第2フレーム・フォー・ライフじゃ」

『ミライ』
〈Future〉『イマ』
〈Present〉

「え！？ でも、あまりにも、あたりまえじゃない？」

『カコ』
〈Past〉

「そう^{おも}思うかい？」

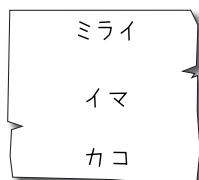
まあ、少^{すく}なくとも、このフレームも、さまざまな“ライフのあり
 方^{かた}”^{おし}を教^{おし}えてくれる。しかも、フレー！ フレー！ フレームの1つ、
 ワクワク^{わく}枠^{わく}の1つでもある。じゃから、これ^{じゅうぶん}も、十分^いに意味^みあるフ
 レーム・フォー・ライフの1つじゃて——」

「——」 . . .

そのような、帰^きたくしてからの回^{かい}想^{そう}が物^{もの}語^{がた}るように、この第2フレ
 ームに、正^{しょう}直^{じき}、物^{もの}足^たりな^{かん}さを感じ^かじた。

でも——

あ^あた^た新しい^{しゅつげん}キャラ^らが出現^{しゅつげん}するだ^よらうと予^よ想^{そう}した僕^{ぼく}は、気^きを取^とりな^おし、
 『カコ イマ ミライ』を地^ち図^ずの裏^{うら}に書^かき込^こみ、手^てに持^もった。



すると——

「お久^{ひさ}しぶりでござ^{げん}いますう～♪ お元^{げん}気でござ^きいましたか～？♪」

コンパースの^{こえ}声^きが聞こえた。

「あれ？ ——コノヤロ、コノヤロ！ ^{ひさ}久しぶり！ あいさつもなしで^{きゅう}急^きに消えちまうんだもん。さびしかったんだぞ」

「^{ぜんかい}前は、あいさつできなかったでございませう〜♪

^{じかい}今回は、あいさつできるでございませう〜♪」

「——あれ？ キャラクターが、^{ぜんかい}前^{くら}回と比べて、どことなく^か変わっている^き気がする」

「その^{ちが}違いは、^{だい}第2フレームが^{しめ}示しているでございませう〜♪」

「それって、もしかして—— ^{いま}今は、^か過去や^{みらい}未来についても^{はな}話せるとか？」

「ラリルレロン！♪ ええ、そうでございませうともお〜♪」

「おお、^{ぜんかい}前^{くら}回よりアップグレードしているんだね！」

35

「——^{おし}教えて、^{おし}教えて！ まずは、^か過去のことを——。君が^{きみ}知^しっている^か過去の^ここと」

「えーと、だれの^か過去^こを^{はな}話せばよろしいでございませうか〜？♪」

「え？ じゃあ、^{みさき}岬^でで^あ出会った、あのおじいちゃんの^か過去^こについて、^{いま}今は、^{はな}話せる？」

「はい、^{はな}話せるでございませうとも〜♪

^{さくねん}昨年^{しよ}の初夏^かに、お会^あいした^か過去^この思^{おも}い出——

それから、^{ちい}小さい^{ころ}頃、^{おや}親^きに聞^きいておりました^か過去^この^き記憶——

それらの両方ともを話せるでございますう〜♪」

「——え？ 小さい頃、どんなふうにおやから聞いていたんだい？」

「はい。彼は、われわれの間に先祖代々語り継がれてきた、伝説の
スーパースター〜♪ 永遠のビッグヒーロー〜♪ フレーム・マ
スターの中のフレーム・マスターでございますう〜♪」

「フレーム・マスター？」

「そうでございますとも〜♪」

フレーム・マスター—— それは、フレーム・フォー・ライフの
意味を、よく知っておられる方でございますう〜♪

昨年さくねんの初夏しよか、初めてお会いしたときは、非常ひじょうに感動かんどうしたござい
ますう〜♪ お話はなしもしてくださりましたでございますよお〜♪」

「——」

不思議ふしぎな気分きぶんだった。

あのおじいちゃんが——

いつも昼寝ひるねしているらしい、あのおじいちゃんが——

実は、すごい人ひとだった？

36

「おじいちゃんは、ずっと前まえから、あの辺あたりに住すんでいるのかい？」

深く考えふか かんがずにコンパスたすに尋ねてみた。

「そうでございますとも〜♪」

これまでの^{おお}多くの^{としつき}年月は、^{いま}今と同じ^{おな}家で、^{あい}愛する^{つま}妻と^{いっしょ}一緒に^{くら}暮ら
していらっしやっただございますう〜♪」

「暮^{くら}らしていらっしやっただございませう〜♪」
「え？ 今、奥^{いま}さんは？」

「数^{すうねんまえ}年前に、お亡^なくなりになられてしまったでございますう〜♪」

「ええ!？」

音楽イン ♪ Wishes In Sorrow

あの陽^{よう}気な^きおじいちゃんが、奥^{おく}さんと数^{すうねんまえ}年前に死^し別^{べつ}していたなん
て——。 . . .

それでも、希^き望^{ぼう}を見^み出^だしてシヨックをやわらげるべく、質^{しつもん}問^{もん}を再^{さい}開^{かい}
した。

「子^こどもや孫^{まご}たちは？」

「はい、赤^{あか}ちゃんは、授^{さず}かったでございますう〜♪

いいえ、赤^{あか}ちゃんは、授^{さず}からなかったでございますう〜♪」

「え？ どっち？」

「ご夫^{ふう}婦^ふは、赤^{あか}ちゃんをとてもお望^{のぞ}みになりました。妊^{にんしん}娠^{しん}するとい
う形^{かたち}では、何^{なん}度^どか授^{さず}かったでございますう〜♪

抱^だっこできる赤^{あか}ちゃんとしては、授^{さず}かることができなかつたで
ございますう〜♪」

「——」 ええ!？ . . .

シヨックがやわらぐどころか、さらなるシヨックを受けた。

どんなにか、つらかったらう？

どんなにか、せつなかつたらう？

どんなにか . . .

あのおじいちゃんが——

あんなに陽気なおじいちゃんが——

これほど深い心の傷を負っていたなんて——。

「彼は、子どもたちや若者たち… み～んながみんな、めんこくて
たまらないでございますう～♪」

「——」

「彼は、子どもたちや若者たちと出会ったり、道ですれちがったり
するたびに、人知れず、“幸せに生きるんじゃぞ”と心の中でつぶ
やいておられるでございますう～♪ 昨年、岬であなた様と出会
れたときも、例外でありませんでしたでございますう～♪

このことに、われわれが気づいておりますことを、彼自身は全く
ご存じないでございますう～♪」

「おじいちゃん——」 おじいさんを見る目が大きく変わったのを
感じながら、そうつぶやいた。

おじいちゃんの過去を知ってショックを受けた上に、過去や未来
について話せるようになったコンパースとの会話が少しコワイよう
な気がしたこともあり、しばらくの間、コンパースとの会話を控え
ることにした。

音楽フェード・アウト ♪ Wishes In Sorrow

37

それから数週間が経過したある日、思いきって、コンパスとの
 会話を再開した。

「それじゃあ、今は、未来についても何か話せるのかい？」と僕。

「はい、話せるでございますう♪ さっそく、わたくしの将来の夢
 を、お見せいたすでございますう～♪

岬にいた彼、フレーム・マスターの中のフレーム・マスター公認
 の夢でございますう～♪

心の目で、ご覧いただけるでございますう～♪」

「え？」・・・「——あつ、見える！」

音楽イン♪ Soaring Up Into The Sky

子どもらしき小さなペーパー・コンパスが1枚いて——

全部で3枚のペーパー・コンパスが仲良く空を飛んでいる——

それは、コンパスが、結婚して家庭を築いているらしい内容の
 未来のイメージで——

「うわお！ 結婚するんだね？」

「そうでございますとも～♪

好きな相手がいるでございますう～♪

彼女と、ずっと一緒に生きて参りたいでございますう～♪

楽しみでございますう～♪ ワクワクするでございますう～♪」

「やるう！」・・・「——え？ これって、もしかして——僕の
 未来も見せることができるのか？」

「あなた様の未来をお見せすることは、できないでございますう～♪

先ほどの未来は—— わたくしの、将来、叶えて参りたい夢でございますう〜♪ 実現するかどうかは、まだ、わからないでございますう〜♪」

「そうなんだ」

「あなた様の未来—— あなた様の、将来、お叶えになられたい夢を拝見いたしたいでございますう〜♪」

「え？ それは——」 それまで、あまり深くは考えていなかったけれど—— 漠然とだけれど、あった。「——ああ、やっぱいいや。恥ずかしいや」

「いえいえ、ぜひどうぞでございますう〜♪——」

「——。 ——。 ——。 何か、こう—— 心地よくて、うれしくて、おいしくて——」 …… 「——そう！ フルーツのような何かを生み出すこと？」

それは、誰かの心からの笑顔かもしれないし—— 何かの作品かもしれないし—— 何かについての誰かの活躍かもしれないし—— そんな—— そんな感じの——」 …… 「——あれ？ 何、言っているんだろうね？」

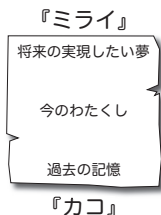
「すばらしいでございますう〜♪ 楽しみでございますう〜♪」

コンパースは、真剣に受け止めてくれたんだ。

音楽フェード・アウト ♪ Soaring Up Into The Sky

38

過去の記憶を見つめる、今のわたくしを見つめる、将来の実現したい夢を見つめる—— それぞれの“ライフのあり方”が『カコイマ ミライ』に対応しているのは明白だった。



その後も、新しいプチ・マップの作り方が、次々と見つかった。

『カコ』

思い出が大切
思い出のために
過去を見つめたい
過去志向
回想、回顧、反省
後ろ向き
過ぎ去ったことを
楽しかった思い出
宝探しをした
した
いた
あった

『イマ』

今が大切
今のために
今を見つめたい
現在志向
現状
横向き(?)
今、この瞬間を
今、楽しい
宝探しをしている
している
いる
ある

『ミライ』

将来の夢が大切
将来のために
未来を見つめたい
未来志向
予想、予定、期待、希望
前向き
これからのことを
あとのお楽しみ
宝探しをするだろう
するだろう
いるだろう
あるだろう

...

39

写真のアルバムを久しぶりにめくっていたのは、梅雨明け待ち遠しい、ある雨の日だった。

留守番中の家の外では雨音が絶え間なく響き渡っていた。

音楽イン ♪ Birthtime

赤ちゃんのときの自分の写真——

産まれて間もなく、ほっとしている母に抱かれている写真

ふとんの中でぬくぬくしている写真

ニコニコしながらベビー歩行器を乗りまわしている写真

幼児期の自分の写真——

あまりに小さい頃に亡くなったので、全く記憶に遺っていない

“父方の祖父”が見守っているそばで三輪車に乗っている写真

誕生日のお祝いケーキをしげしげと見つめている写真

記念撮影の際、兄にこちょこちょされて笑っている写真

子犬時代のランプベリーを抱きかかえながら笑っている写真

小学生のときの自分の写真——

登山のゴール地点で父母と一緒に笑っている写真

サッカーのユニホームを着て、ポーズを決めている写真

卒業式の日の、先生や友人たちと一緒に写っている写真

...

——これらの写真は、僕の過去だ。

それから、心こころの中なかに思いおも浮かうかべた。

自転車じてんしゃに乗のれるようになって、大喜おおよろこびした思いおも出で——

祖母そぼの家いえに遊びあそびに行いき、すべてたのが楽たのしかった思いおも出で——

家族かぞくみんなで海水かいすい浴よくにでかけ、ワクワクおもドキドキでした思いおも出で——

夏は休やすみに、とても早はや起きおきして、ノコギリクワガタとのオスとを捕とるこ
とができて、大喜おおよろこびした思いおも出で——

ランプベリーこいぬが、子ひきう犬ふを3匹しぎ産きみ、とても不思議きもな気持もちになっ
た思いおも出で——

…

——これらこころの心なかの中おもの思いで出ほくも、僕かこの過こ去こだ。

つぎ、別べつのアルバムはじのページはじをめぐり始はじめた。

おじさんにに似にている堂どう々どうとしている“母はは方かたの曾そう祖そ父ふ”の肖像しょう画が
の写しゃ真しんを見みつけた。70歳さい代だいくらいだろうか——。

… —将来しょうらい、僕ぼくもこうなれるかな。

わかわかせんしせんししてしまははった“母はは方かたの祖そ父ふ”の当とう時じの白しろ黒くろ写しゃ真しんを見み
つけた。

母ははの今いまの年ねん齢れいよりも、ずわかっと若わかい。… まだまだ、いろい
ろやってみたかったことがああっただろうに——。…

母はは方かたの祖そ父ふは、やはっぱり、どははことなく母ははに似にているよ。

母ははの名なは、母ははの誕たん生じょうを戦せん地ちで知しった祖そ父ふが、戦せん地ちから送おくった手て紙がみ
の中なかで希き望ぼうしていた名な前まえだそったと、祖そ母ぼが話はなしてないたっけ。…

また、別べつのアルバムはじをめぐり始はじめた。

すると、今度は、父と母が結婚して間もない頃の写真を見つけた。

この頃、兄も僕も、まだ存在していなかったんだ。

なんだか不思議な感じ—— . . .

——うん。今から10年前に、僕は存在していたけれど——

15年前には、僕は明らかに存在していなかった。

音楽フェード・アウト ♪ Birthtime

40

自分の部屋に移動した僕は、ベッドの上で仰向けになった。

それから、天井を眺めながらぼんやり考え続けた。

100年前はどうだった？

——うん。もちろん、僕は存在していなかったし、同時に、おばあちゃん、父ちゃん、母ちゃん、兄ちゃん、ランプベリー、岬のおじいちゃん… も含めて、“現在100歳未満の人や動物”は、存在していなかった。

1万年前は？

——“現在生きている人間や動物”の個体だけでなく、その社会も存在していなかったらう。

何億年も前の、恐竜が繁栄していた頃には？

——“現在げんざい生いきている人にんげん間どうぶつや動しゅ物おお”の種そんざいの多おほくも存在そんざいしていな
かっただろう。

何なんじゅうおくねん十億年まえも前ちきゅうの、地ち球きゅうが生うまれてすころぐの頃ころには？

——きちきゅうじょうつと、地ち球きゅう上じょうにどせいめいんな生そんざい命せいめいも存在そんざいしていなそんざいかっただろう。

さらまえに前まえには、地ちきゅう球きゅうも太たいよう陽たいようも存在そんざいしていなそんざいかっただろう。

これこれって、どどうういいうこことななののだだららう？

このこのこことは、何なにをいみみしてしているのだだららう？

．．．

41

逆ぎやくに、未み来らいは？

ああした
明日あしたは？

——たあめぶあめん、まあめた雨あめだあめらあめう。

．．．

らいらいしゅうしゅう
来週らいしゅうは？

——おつゆあそらく、もつゆあう梅つゆあ雨あ明あけあしてあいるあだあらあう。

．．．

らいらいげつげつ
来月らいげつは？

——きなつやすつと夏なつやす休まみの真さいちゅうっま最さいちゅう中ちゅうだ。

．．．

らいねん
来年は？

——きっと中学^{ちゅうがく}3年生^{ねんせい}だ。

・・・

ねんご
10年後は？

——どうなっているのだろう？

・・・

ねんご
100年後は？

——自分^{じぶん}、おばあちゃん、父^とちゃん、母^{かあ}ちゃん、兄^{にい}ちゃん、ラン
プベリー、岬^{みさき}のおじいちゃん… も含めて、“現在^{げんざい}生きている人間^{にんげん}や
動物^{どうぶつ}”の個体^{こたい}の多くは存在^{おお}していないだろう。

・・・

まんねんご
1万年後は？

——“今^{いま}生きている人間^{にんげん}や動物^{どうぶつ}”の個体^{こたい}だけでなく、社会^{しゃかい}も存在^{そんざい}
していないだろう。種^{しゆ}としては存在^{そんざい}しているだろうけれど——。

・・・

まんねんご
100万年後は？

——人間^{にんげん}や動物^{どうぶつ}の種^{しゆ}、地球^{ちきゅう}は、どうなっているのだろう？

・・・

おくねんご
1億年後は？

——動植物^{どうしよくぶつ}や地球^{ちきゅう}や太陽系^{たいようけい}は、どうなっているのだろう？

・・・

おくねんご
100億年後は？

——生命^{せいめい}や太陽系^{たいようけい}、銀河系^{ぎんがけい}や宇宙^{うちゅう}は、どうなっているのだろう？

・・・

42

これらの考えが意味していることは——

遠い将来は、今ここに誰が存在していようがいまいが関係なく、
結局、何も変わらないってこと？

将来はいずれ、かつて誰もが存在していなかった頃と同じ状態に
戻るってこと？

．．．

将来、いずれ僕はいなくなる——。

ただ、僕がいなくなる前に——

岬のおじいちゃんがいなくなってしまう？

ランプベリーもいなくなってしまう？

いや、それどころか、後先関係なく—— 大好きな祖母、大好きな家族、大好きな友達、大好きな先生、お世話になっている方々…
も含めて、みんながみんな、いずれいなくなってしまう？

それらのシーンを、ありありと想像していたら—— ジワジワと涙が込み上げてきた。涙があふれて、あふれて、とまらなくなった。

．．．

いったい、どこがワクワク粋なの？

これじゃ、まるでクヨクヨ粋じゃないか——。

これじゃ、どこが“フレー！ フレー！ フレーム”だか、さっぱり、わからないじゃないか——。

．．．

家の外では、相変わらず、雨音が絶え間なく響き渡っていた。

43

なつやす 夏休みのある晴れた日、木陰で、小川の冷たい水の流りに足を浸
 しながらか 仰向けになっていた。

そばで 昼寝しているランプベリー。

きしべ 岸には、多くのヒマワリが咲き誇っていた。

たんじゅうびき 何十匹ものセミたちが力一杯鳴いていた。その思い思いの旋
 がしゅうへん 周辺に熱く響き渡っていた。

この葉の今は――

めまへ 目の前で、豊かに生い茂っている青葉。

この葉の過去は――

こころなか 心の中の、うす緑の新緑。

この葉の未来は――

こころなか 心の中の、赤い紅葉。

ヒマワリの今は――

めみ 目で見ている、満開な姿。

ヒマワリの過去は――

こころなか 心の中の、一粒の種。

ヒマワリの未来は――

こころなか 心の中の、種をたくさん実らせている姿。

セミたちの今は――

き 木にとまり、力いっぱい鳴いているオスなどの姿。

セミたちの過去は——

心の中の、何年間も土の中で過ごしている幼虫の姿。

セミたちの未来は——

心の中の、木の皮に卵を産みつけているメスなどの姿。

僕の今は——

ここで小川に足を浸している姿。

僕の過去は——

心の中の、赤ちゃんとして親に抱かれている姿。

僕の未来は——

心の中の、親として赤ちゃんを抱いている姿？

小川の水の今は——

僕の足を冷やしている水の流れ。

この小川の過去は——

心の中の、空に浮かんでいる雲。

この小川の未来は——

心の中の、空に浮かんでいる雲。

——アレ？

おじいちゃんの今は——

心の中の、昼寝している姿。

おじいちゃんの過去は——

心の中の、昼寝している姿。

おじいちゃんの未来は——

こころ なか ひる ね すがた
心の中の、昼寝している姿。

——アレアレ？

ともかくにも、どの対象においても、それぞれの3つの見方は、『カコ イマ ミライ』が示す“ライフのあり方”に対応しているのは変わらないだろう。

なんじゅうびき だいがっしょう あい か なつ えんしゅう
何十匹ものセミたちの大合唱は、相変わらず、夏を演出しながら
あつ りびき わた
ら熱く響き渡っていた。

44

たとえば、過去は…と考える人生、今は…と考える人生、未来は…と考える人生が、『カコ イマ ミライ』によって示される3つの“ライフのあり方”に対応しているのは明白だった。

『ミライ』

未来は…

現在は…

過去は…

『カコ』

ほかにも、いろいろなプチ・マップの作り方が次々と見つかった。

『カコ』

かつては…

きのう
昨日は…せんしゅう
先週は…せんげつ
先月は…きょねん
去年は…ねんまえ
10年前は…ぜんせい
前世紀は…せんねん
先の千年は…せんまんねん
先の1万年は…ひゃくせんねん
先の百万年は…おくねん
先の1億年は…

『イマ』

いま
今は…きょう
今日は…こんしゅう
今週は…こんげつ
今月は…ことし
今年は…

この10年は…

こんせい
今世紀は…

このせんねんは…

このせんまんねんは…

このひゃくせんねんは…

このおくねんは…

『ミライ』

しょうらい
将来は…あした
明日は…らいしゅう
来週は…らいげつ
来月は…らいねん
来年は…

つぎの10年は…

じせい
次世紀は…

つぎのせんねんは…

つぎのせんまんねんは…

つぎのひゃくせんねんは…

つぎのおくねんは…

• • •

45

なつやす さいしゅうび つ うみ すなはま さんぼ
夏休み最終日、ランプベリーを連れて、海の砂浜まで散歩した。なみ う ぎわ か まわ
波打ち際を駆け回っているランプベリー——。こし お うみ すいへいせん そら なが ぼく
腰を下ろしたまま、海と水平線と空を眺めている僕——。おも きょねん たからさが さ い
思えば、去年の宝探しのとき、おじいちゃんに差し入れてもらっ

た、いちご—— むちゃくちゃおいしかったなあ。

ことし みやげ
今年の、お土産のいちごもおいしかった。

いちごって、どうしてあんなにうまいんだろう？

• • •

それにしても、おじいさんの過去は——

・・・ かわいそうすぎるよ。

「——ハア——」 ため息が出た。

それから、自身の過去について、あれこれ思いめぐらせ始めた。

——僕の過去は、一体、何だったのだろう？

小さい頃から、ランプベリーに加え、5歳年上の兄とも、いっぱい遊んでいたっけ——。

キャッチボールをしたり、サイクリングしたり、魚釣りに行った
り、オセロをしたり、トランプをしたり、人生ゲームをしたり…。

カプトやクワガタを捕るために、橋の街灯ポイントに初めて行
たときも、兄と一緒にだった。

ザリガニ釣りに初めて行ったのも兄と一緒にだった。

サッカーのキックの仕方を初めて教わったのも兄だった。

将棋の駒の動かし方を初めて教わったのも、ルービックキューブ
を初めて教わったのも兄だった。 …

その兄は、学年が上がり、受験勉強が忙しくなるにつれ、あまり
僕と遊ばなくなった——。

その代わり、ランプベリーに加え、小学校のクラスメートと遊ぶ
頻度が増えたっけ——。

河原で冒険ごっこをしたり、ザリガニ釣りをしたり、学校近くの
山の上のアスレチック・コースに行ったり、遊びでバドミントンを
したり、ローラースケートをしたり、友達の家でゲームをさせても
らったり…。

——これらも楽しかったなあ。

けっかんざっし けんしやう なんと おうぼ けっか たの ま
月刊雑誌の懸賞に何度か応募して、結果をすごく楽しみに待って
いたこともあったっけ——。ゆいいつ あ ざんねんしやう
唯一当たったのは、残念賞の「ドラえ
もんシール」だけだったけれど—— それでも、うれしかったな。
いま だいじ たからぼこ
今も大事に宝箱にしまっただけ——。

それから、いま おも ちやう いていしやう
今から思えば、どうでもいいようなことに、妙に一生
けんめい
懸命になっていたな。

たとえ しょん ぎゅうにゅう あた りゅう
例えば、新パ——牛乳びんの新しいふたをメンコにした遊びが流
こう
行したときには、ぎゅうにゅう かいしや てがみ へんしんしやう ふう
牛乳の会社に、せつせと手紙とともに返信用の封
どう おく しょん おく いただ ぎゅうにゅう かいしや かた
筒を送り、新パを送って頂いたっけ——。牛乳の会社の方は、どん
な きもち しょん おく
な気持ちで新パを送ってくださっていたのだろう？

たとえ ねんせい たんにん せんせい だ ねんがじやう
例えば、5、6年生のときの担任の先生に出す年賀状のデザイン
を、あれこれ かんがえ かんが ね こ
考えて練り込んでいたこともあったっけ——。
べつ め ぎ ねん が
別に、それを目指していたわけじゃなかったけれど—— その年賀
じやう ねんれんそく にん き とうひやう い えら りくつ ぬ
状が、2年連続でクラスの人気投票で1位に選ばれたのは、理屈抜
きで、うれしかったなあ。クラスメートは、どんな きもち とうひやう
な気持ちで投票し
てくれていたのだろう？

...

46

ただ一方で—— っぱう
つらいこと、いやなこと、ヒヤヒヤすること…
も、あったっけ——。

音楽イン ♪冬 Winter

しょうがっこう 小学校のとき、きゅうしょく じかん 給食の時間だけは、ほとんどが苦しきだったな。

おほ 多くの人たちにとって、たのしみ 楽しみであったらうけれど——。

ちゅうがく べんどう か おおだす かあ もう わけ 中学から弁当に変わって、大助かりだよ。母ちゃんには申し訳ないけれど——。

せつかく きゅうしょく つく 給食を作ってくださっていた方々にも申し訳ない話だつたけれど、いま は、ある程度減っているけれど—— 小さい頃、口に入れてかむだけで吐きそうになってしまう苦手な食材が多く、給食に、そういった苦手な食材が含まれることがほとんどだった分、給食の時間は、自分にとって、ほとんどが苦難タイムとなっていた。

しょうがっこう ひとまえ はっぴょう 発表も、すごく苦手で、しんどかったわけ——。かお あか 顔が赤くなっていたし、“て や 照れ屋さん”とクラスメートに称されたこともあったし——。ひとまえ はっぴょう 人前で発表するのは、今も苦手だよ。

...

しょうがっこう わす 小学校のとき、忘れられないヒヤヒヤする出来事もあった——。

「——ハア——」 おも 思い出そうとするだけでも、ため息が出るよ。

どようび ちやうない 土曜日、町内のソフトボールチームの練習にでかける直前、ちち よ と 父に呼び取められ、「くるま じ こ き 車との事故に気をつけるんだよ」と注意された。じてんしゃ い と ちゅう さゆう みとお わる こうさてん 自転車で行く途中に左右の見通しの悪い交差点があった。

ただ、とうじ おお ぼく は、そのさんかく と ひょうしき 当時の大バカだった僕は、その三角の止まれの標識があった交差点で、いつしか、なぜかじてんしゃ と 自転車で“止まらずにつっきる遊び”をするようになっていた。

いちど 一度、それでせいこう 成功していたので、そのひ も うま 日も上手いくいだらうと思ひ、おな 同じように、つっきろうとした。

ところが、その日、交差点に進入し始めた直後、自転車の直前を、減速するはずのない乗用車がビュー！！と横切った。

全身が凍りつき、心臓が止まりそうになった。

二度と、そんなバカな遊びをしなくなった。

本当に大バカだったな。

「——ハア——」——なぜ、あんなに大バカだったのだろうか？

もし、あの日、父ちゃんが僕を呼び取めて「車との事故に気を付けるんだよ」と注意してくれた数秒のタイムラグがなかったら、きっと、自動車にひかれて、いのちを失っていたんだろうな。

当然、今の自分は、いなかったらう。・・・

「——ハア——」本当にヒヤヒヤするどころじゃないよ。・・・

やっぱり、父ちゃんが僕を守ってくれたことになるんだろうな。

・・・

この愚行を思い出すたびに、父への感謝の気持ちを抱くだけでなく——しばし、申し訳ない気持ち、後悔、自己嫌悪…に打ちのめされるのが常だった。

バカなことだけじゃない。

失敗したこと、恥ずかしかったこと、かっこ悪かったこと、人を振り回してしまったこと、人に迷惑をかけてしまったこと、人を悲しませてしまったこと…多々ありすぎだよ。

「——ハア——」ため息が出た。

いったい、僕の人生、何だったのだろう——。

なんで、こう、愚かで、情けなくて、めみっちいのだろう？

・・・

すく 少なくとも、あとさき^{かんが}考えずに、自分のことしか^{じぶん}考えずに、浅は^{あさ}かなことをしてしまう^{じぶん}自分は、卒業^{そつぎょう}したいよ。

このままじゃ、いやだよ。

・・・

音楽フェード・アウト ♪冬 Winter

ふいに、腕^{うで}にぬくもりを感じた。いつしか、ランプベリー^{かん}が寄り添^よってくれていたのだ。

そんな嘆^{なげ}かわしい“過去^{かこ}の自分^{じぶん}”から脱却^{だつきやく}したいと、もがいていた僕^{ぼく}を、ランプベリー^{やさ}が優しく^{ほげ}励^{ほげ}ましてくれていたように^{かん}感じた。

47

ランプベリー^よに寄り添^そわれながら、しばらくの間、流^{あいだ}れる雲^{なが}をぼんやりと眺^{くも}めていた。

すると、突然^{とつぜん}、ある雲^{くも}の集^{あつ}まりに目^めが釘^{くぎ}付けになった。

あれは、バナナ^みに見えるなあ。あ！あれは、りんご^みに見える！あれは、みかんだ！ …

そのときだ。“フルーツのヨーグルト^あ和^{きゅうしょく}え”が給食^でに出たときのことを思い出したのは――。

そういえば、“フルーツのヨーグルト^あ和^でえ”が出た給食^{きゅうしょく}の時間^{じかん}だけは、最高^{さいこう}だったなあ。

それは、苦難^{くなん}に満^みちた小学校^{しょうがっこう}の給食^{きゅうしょく}の時間^{じかん}の例外^{れいがい}だった。年^{ねん}に1、2回^{かい}“フルーツのヨーグルト^あ和^でえ”が出たときだけは、それが大好き^{だいすき}だったからだけでなく、たいてい苦手^{にがて}な食材^{しょくざい}が全く^{まった}伴^{とも}っていないかつ

なので、なおさら、稀少^{きしう}で、ありがたい、幸せ^{しあわ}タイムとなっていたのだった。

——ああ、おいしかったなあ。また、食^たべてみたいよ。

そういえば、あのおじいちゃんのいちごも、おいしかったなあ。あのおかげで、生き^いかえ^{かえ}った^き気がしたっけ——。

それに食後のデザートに母^{はは}が出^だすフルーツもおいしい——。

．．．

フルーツって、何^{なん}で、あんなに、おいしいのだろう？

ああ、フルーツのような何かを生^なみ出^うす^だ将来^{しょうらい}の夢^{ゆめ}は、このような^{たいけん}体験^{えいけん}の影響^{えいぎょう}もあって、生^うまれていたのだろうなあ。

．．．

僕^{ぼく}は、やっぱり、フルーツのような何かを育^なみ^{はく}たい。

それに、みんなに喜^{よろこ}ばれるフルーツのような存在^{そんざい}になりたいよ。

．．．

——そうだ！

僕^{ぼく}は、あのときの“フルーツのヨーグルト和^あえ”^{はく}を育^{はく}みたい。

あのときの“フルーツのヨーグルト和^あえ”になりたい。

ライバルは、あのときの“フルーツのヨーグルト和^あえ”だ！

それに、あのときの、いちごも育^{はく}みたい。

あのときの、いちごにもなりたい。

ライバルは、あのときの、いちごだ！

．．．

48

なつやす
夏休みが終おわると、秋あきと冬ふゆが駆かけ足あしで過すぎ去きり——

よ
予想そうどお通り、雪解ゆきどけの季き節せつに、コンパわかースわかとの別わかれわかを迎むかえた。

音楽イン ♪春 Spring

こんかい
今回は、コンパわかースわかが別わかれのタイミさつちングをさつちっかり察知さつちできたお
かげで、きちんとあいさつできた。彼かれの任にん期きは3年ねんであり、次つぎの
だい
第3フだレームで彼かれの担たん当とうは終しゅうりょう了りょうするとのことであった。

音楽フェード・アウト ♪春 Spring

むか
そうして迎むかえた中ちゅう学がく3年ねんの初しょ夏か——

音楽イン ♪夏 Summer

「おお！ 予よ想そう以上じょうに、背せがたか高たかくなっておるのお。ささがしゅうねん少年ねんじや」

「フッフッフ。追おいぬ抜ぬくも時じ間かんの問もん題だいだぜ」 僕ぼくの身しん長ちやうは、お
じいさんと、ほおなぼおな同おなじおなくらいおなになっていた。

しふっふを振ふりながら、お座すわりしているラんプベりー——。

ぼく
僕ぼくは、おじいおさんに、この1年ねんで考かんえたこと、感かんじたこと、やつ
たこと—— それから、小ちいさいころ頃おもの思しい出しゅうらいや将しゅうらい来きの夢ゆめも含ふくめ、いろ
いろ話はなして聞きかせた。

「ほう。おましゅうらいえのうぎょうさんも、将しゅうらい来のうぎょう、農のうぎょう業をやるのか？」とおじいおさん。

「ん？ そりたしゃあ、確たしかに農のうぎょう業も大だい事じだし、魅み力りよく的てきだと思おもうよ。た
だ、僕ぼくの場ば合あい、それををどうやってう生だみ出だすかは、まだはっきりわか
らなくて—— 何なんていうか、こう—— おいしくて、満みちたりたき
持もちもにもさせてくれるような—— エたネたルたギたーを蓄たくわえさせてくれる
ような—— 生いきかえ返かえるような気き持もちもにもさせてくれるような——

フルーツのような何かを生み出すっていうか—— フルーツのよう
な存在になるっていうか——。

——アハッ。やっぱり漠然としていて非現実的だよな」

「ううん、そんなことはないよ。すばらしいビジョンじゃよ」

「——あ、ありがとう。

フルーツのような何かを、どうしたら生み出せるのか。どうしたら
フルーツのような存在になれるのか。それらを自分らしく達成す
るために、どのような道を選ぶのがよいのか。その未来像を実現す
るために、具体的に何をどうすればよいのか。…

これらの答えは、まずは高校に入って、それから見つける予定さ」

「——うむ。見つかるといいのお。楽しみにしておるよ」

「ありがとう」

音楽 ♪夏 Summer 49 に続く

49

ランプベリーは、いつしか昼寝を始めていた。

「——で、おじいちゃんの将来は？」 僕は、軽い気持ちで尋ねた。

「——。 ——わしゃあ、死ぬだけじゃな」

48 から続く音楽 急遽中断 ♪夏 Summer

「——」 ……

しばし沈黙が流れた——

かと思うと、おじいさんは再び口を開いた。

「——というのは、冗談じゃ。

音楽イン ♪心地よき日々 Comfortable Days

こう見えてもな、わしにも、たーんと将来の夢や目標がある。

内容は、秘密じゃがの。アッハッハッ！」

「——」

「それに、わしには、すてきな思い出たちもある。

それに、わしには、幸せな今もある——」 満足そうな笑みを浮かべているおじいさん。「みんな大好きじゃ。みんな——」 おじいさんは、そのまま、座った姿勢で目を閉じた。

「スー —— スー —— スー —— …」 かすかに寝息をたてているおじいさん——。僕は、おじいさんが自然に目を覚ますまで、ぼんやりと水平線の彼方を眺めていることにした。

音楽 ♪心地よき日々 Comfortable Days 50 へ続く

50

「——あ？ すまん、すまん。思わず、夢の中に入り込んでしまうたわい。やっぱり、もう年じゃのう。アッハッハッ！」

「——。 おじいちゃんの人生—— これからも、長いんだかね？ これからも、ずっと—— ずっと——」

「——」 おじいさんは、何も言わずに再び目を閉じた——

かと思うと、口を開いた。「——サンキュー」

飛行機雲のラインが、大空高く描かれている様子が見える——。

「思ったんだけどさあ、7つのフレーム・フォー・ライフ——7つのワクワク枠って、結局は何のためになるの？」

——ゴールは、いったい何？」率直に尋ねてみた。

「——。——ん？ 前に話さなかったっけ？」とおじいさん。

「え？ ——聞いたっけ？」

「アッハッハッ！ いずれにせよ、そいつは、いや、そいつも——おまえさんに任せるのが一番よいじゃろう」

「——。——どうして？」

「——。はて、どうしてかな——」

「——」 . . .

「——うむ。では、そろそろ、第3フレームについて説明しようかの」

「ああ、ほい来た」僕は、おじいさんに地図を手渡した。

音楽終了 ♪心地よき日々 Comfortable Days

7つのワクワク枠 / The 7 Frames For Life

となりのコンパス②

第2フレーム

『カコ イマ ミライ』

【完】